

平成28年度愛知県生涯学習審議会社会教育分科会の協議題について

1 協議題

「地域と学校の協働の推進について」

2 協議題設定の理由

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域の教育力の低下や、家庭教育の充実の必要性が指摘されているとともに、学校が抱える課題は複雑化・困難化している。そのような状況の中で、平成27年12月21日に中教審答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」が出された。

ここでは、地域と学校がパートナーとして、共に子供を育て、共に地域を創るという理念に立ち、地域の教育力を向上させ、持続可能な地域社会をつくる必要があるとしている。そして、従来の学校支援地域本部、放課後子供教室、家庭教育支援チーム等の活動をベースに、「支援」から「連携・協働」、個別の活動から「総合化・ネットワーク化」を図り、組織的・継続的な仕組みとして、新たな体制としての「地域学校協働本部」へ発展させ、地域学校協働本部が、早期に全小中学校区をカバーして構築されることを目指している。

地域と学校が連携・協働することで、新しい人と人とのつながりも生まれ、地域の教育力の向上につながるとともに、地域の教育力の向上は、地域の課題解決や地域振興、さらには、持続可能な地域社会の源となり、「生涯学習社会」の構築にも資するものである。

3 本県の状況

- 学校支援地域本部については平成20年度より取組、平成28年度は、44小中学校で実施している。（小中学校設置率：5.7% 27年度全国平均31.9% 全国最低水準）
- 放課後子ども教室については平成19年度より取組、平成28年度は、267小学校で実施している。（小学校設置率：50.0% 27年度全国平均48.0%）
- 土曜日の教育活動については平成26年度より取組、平成28年度は89小学校で実施している。（小中学校設置率：13.3% 27年度全国平均33.0%）

○ 家庭教育支援チームについては現在5チーム活動している。(H28.5.27現在 全国チーム数：145チーム)

以上、これまで学校支援地域本部や放課後子供教室等の取組を通じ、学校と地域の関係構築につながるなど、一定の成果を上げているが、国の教育振興基本計画では、全ての学校区において学校支援地域本部、放課後子ども教室や家庭教育支援チームの取組の実施を目指していることから、遅れた状況にあるとともに、現状の活動に関しても、更なる取組の充実と普及が必要である。

また、貧困家庭や外国人家庭など満足な学習支援が受けられない家庭の子どもは、学習が遅れがちとなり、学習の習慣が身につけていない傾向があり、貧困の連鎖が大きな問題となっている。地域と学校の協働による学習支援、体験活動、家庭教育支援など、地域の教育力の向上及び地域の活性化が期待される。

4 協議の視点

- ① 地域と学校の協働の現状と課題
- ② 地域と学校の協働の推進のあり方
- ③ 地域と学校の協働の取組の方向性